

セーフティ& メンテナンスガイド

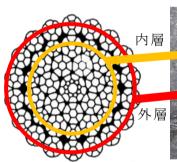
(M2504031) 1/2

非自転性ワイヤロープを使用時の注意について

- 弊社製クローラクレーンに搭載している巻上ウインチ用 非自転性ワイヤロープ (ナフレックスワイヤロープ) におきまして、形くずれの報告がありました。
- 発生要因と注意点を記載しましたので、内容をご確認ください。
- ワイヤロープのトラブルを早期に発見し、事故を未然に防ぐために取扱説明書を参照し、 定期的な点検・整備をお願いいたします。

発生要因

- ワイヤロープが構造物等と干渉し強く擦られ、しごかれて撚りが詰まり、ワイヤロープ 外層と内層の撚りのバランスが崩れ、形くずれが発生しやすくなります。 (下の写真をご参照ください。)
- 巻上げ負荷と巻下げ負荷が異なる作業を連続して行うと、撚りが詰まってしまい、 ワイヤロープ外層と内層の撚りのバランスが崩れ、形くずれが発生しやすくなります。 (下の写真をご参照ください。)





【形くずれ例】

・内層飛出し

・かご状

注意点

- ワイヤロープの通し間違いにご注意ください。
- 作業終了後は、最大繰り出し長さにて空荷で数回巻き上げ下げを繰り返し、撚り取りを 実施してください。
- 急激な負荷変動や速度変化は、ワイヤロープに大きな衝撃がかかるとともに、振動して シーブやドラムを叩き、ワイヤロープの寿命を短くします。 急な操作をしないでください。

- 層替わり部では、ワイヤロープに負荷がかからないように取扱説明書を参照し、適切な ワイヤロープ長さで使用してください。
- フック多数掛け時には、撚りが入らないようにご注意ください。
- 定期的にワイヤロープヘグリスを塗布してください。
- 同じブーム構成で長期間使用すると、シーブ接触部等では摩耗・素線切れ・潰れなどの損傷が起こりやすいため、端部を若干切り詰めることによって損傷位置が変わり、 損傷を防ぐことができます。またワイヤロープ端末の天地入れ替えを行うことも同様 に損傷を防ぐことができます。
- 新品のワイヤロープを使用する際は、最大繰り出し長さにて、19.6~29.4kN(2~3tf) の張力で数回巻き上げ下げを繰り返し、慣らし運転を行ってから、本運転を行ってください。
- ワイヤロープ交換や天地入れ替えの際は、ワイヤロープ巻取り装置(クレンチワーカーなど)を使用してドラムに巻き込んでください。

注意:ワイヤロープを強擦させながらテンションをかけて巻き込むことは、絶対に しないでください。

ご不明な点がありましたら、最寄りの"サービス工場"または"サービスセンタ"にご相談ください。

●ご用命は右記のサービス拠点へ





発行: 2025年 5月